

# 安比高原ブナ二次林 ブナ浴のすすめ

緑のダムと呼ばれるブナ林。驚くのは、その保水力。一歩足を踏み入ると、しっとりとした空気があなたを包みこみ、地面がまるで絨毯のようにフカフカなことに気づきます。種を飛ばし倒れたブナは、やがて他の木の養分になり、空いた場所に差し込む太陽が、新しい芽を育てます。そうして時間をかけて育まれたブナ達が息づく林で、しばしゆったりとブナ浴をお楽しみください。



大きなブナには、時々熊の爪痕が見られます。ついでに、そのあたりでは一本だけとか。特別な木なのか、はたまた何かの印なのか…。



## 巨木を育む森

ここには、マザーツリーと呼ばれる、ブナの巨木があり、その迫力に圧倒されます。周りのイスに座って見上げると、さらに大きく見えます。ブナは300年しないうちに風で倒れたり枯れたりすることが多く、巨木があまりないと言われています。



## 野湯・安比温泉

温度は最適な40度前後。野外に木で囲ってある湯船があるだけなので入浴の際は大きめのタオルか水着が必要です。奥のまきばから安比岳方面に徒歩約90分。



白いブナ林とは、木もれ日があたって白く輝くことからついたものです。

安比高原は平坦ですが、自然環境が異なる場所で季節ごとの自然散策が楽しめます。  
 「中のまきば」 6月初旬～レンゲツツジ 7月中旬～ヤナギラン  
 「奥のまきば」 8月中旬～エゾオヤマリンドウ  
 「ブナ二次林」 6月下旬～ギンリョウソウ 10月初旬～ブナ紅葉

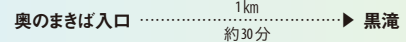
## 野芝草原の再生へ ～安比高原ふるさと倶楽部の活動～

安比高原の自然環境を次世代につなぎ、地域の活性化を目的にペンション・民宿オーナー、企業、関係団体、大学など市民を中心に構成されている。馬による芝草原の復元調査と研究、放牧実験、植生調査、藪の刈り払いのほか、地元小学校での課外授業、「遊々の森（前のまきば・中のまきば・奥のまきば）」での自然体験活動など自然環境保全事業、普及啓発活動が行われている。

## 散策コース例



## 奥のまきば・黒滝コース



自然環境保護の為、マナーを守りましょう。



秋のブナ二次林の天井は、黄色くなった葉が透き通るように見え、やわらかな日差しが入ってきます。

奥のまきばの解放された雰囲気から、うっそうとしたコメツガの林を進むと滝があり、まったく違った雰囲気がみられます。奥のまきばから徒歩20分。



ブナ二次林を抜けると、ぱっと視界が開けます。

入口は二次林の看板が目印。駐車場は2台程度。大型車Uターン不可。



## ブナ二次林

春には新緑、夏には高山植物やセミ、秋には落ち葉のじゅうたん、いつ訪れても見どころがあります。  
 ○昭和61年(1986)森林浴の森日本100選  
 ○平成14年(2002)遊歩百選



## エゾオヤマリンドウ



至 安比高原・ペンション村・国道282号

